別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年 第13回福津市教育委員会定例会
開 催 日 時	令和3年10月27日(水) 午前 9時30分から 午前10時33分まで
開 催 場 所	福津市役所 本館 2階大会議室
委 員 名	(1) 出席委員 大嶋教育長、青木委員、半澤委員、 今村委員、農崎委員
所 管 課 職 員 職 氏 名	水上教育部長、赤間郷育推進課長、堀田文化財課長、 石津学校教育課長、大庭教育総務課長、城野教育総務 課参事、藤岡主幹兼指導主事、山根指導主事兼教育指 導係長、石松指導主事兼教育指導係長、笹田総務企画 係長、川上主事

議 議	議 (内 容)	<ul style="list-style-type: none"> ・日程第 1 開会の宣言 ・日程第 2 会議録署名委員の指名について ・日程第 3 報告第3号 雇用契約上の地位確認等請求事件にかかる和解について ・日程第 4 報告第4号 福津市立学校通学区域審議会の答申について ・日程第 5 議案第35号 福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正することについて ・日程第 6 議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱について ・日程第 7 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・新設校について ・日程第 8 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の動静報告 ・諸報告 <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員の変更について（神興小学校） ・日程第 9 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて ・11月の定例教育委員会の日程について 11月17日（水） 午前9時30分から 会場：庁舎本館2階大会議室 ・日程第 10 閉会の宣言
	公開・非公開の別	☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1人
	資料の名称	
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全文記録	
	☒ 録音テープを使用した要点記録	
	☐ 要点記録	
会議録署名委員	大嶋教育長	
	農崎委員	

その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
<p>(10月1日の庁内人事異動について報告)</p> <p>大嶋教育長：それでは、会議を始める前に会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>笹田係長：本日は次第のみで、会議の別紙資料というのはございません。 教育委員の皆様のお手元には、令和3年度コミュニティ・スクール実践交流会の案内と学校訪問の資料も置いております。 以上です。</p> <p>大嶋教育長：ありがとうございました。 資料はよろしいでしょうか。 (「はい」と呼ぶ者あり)</p> <p>開会前ではございますが、本日の会議には1名の方から傍聴の申出がっております。福津市教育委員会会議規則第13条では、会議は公開すると規定しています。よって、福津市教育委員会会議傍聴人規則第2条に基づき、本日の会議の傍聴については許可をします。 事務局、入室案内をお願いいたします。</p> <p>1 日程第1 開会の宣言</p> <p>大嶋教育長： 皆さん、おはようございます。 構成委員数5名のうち、ただいまの出席数は5名で、定足数に達し委員会は成立いたしますので、令和3年第13回福津市教育委員会定例会を開会します。 直ちに会議を開きます。 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。</p> <p>2 日程第2 会議録署名委員の指名について</p> <p>大嶋教育長： 日程第2、会議録署名委員の指名を行います。 福津市教育委員会会議規則第16条の規定に基づき、会議録は私大嶋と農崎委員で確認、署名することといたします。</p> <p>3 日程第3 報告第3号 雇用契約上の地位確認等請求事件にかかる和解について</p> <p>大嶋教育長： 日程第3、報告第3号 雇用契約上の地位確認等請求事件にかかる和解について報告いたします。 事務局より報告、石津学校教育課長、お願いします。</p> <p>石津課長： では、報告第3号 雇用契約上の地位確認等請求事件の和解に</p>	

ついて、着座にて説明をさせていただきます。

報告第3号、雇用契約上の地位確認等請求事件の和解について、雇用契約上の地位確認等請求事件について和解が成立したので別添のとおり報告する。

令和3年10月27日。

福津市教育委員会教育長、大嶋正紹。

理由、令和元年12月16日付で福津市及び九州ビルサービス株式会社を被告として訴状が提出された「雇用契約上の地位確認等請求事件」について、令和3年10月14日に別紙のとおり和解が成立したので報告する。

2ページをお願いいたします。

別紙、雇用契約上の地位確認等請求事件の和解について。

1、相手方、住所（略）、氏名（略）。

2、事件の概要。令和元年度（平成31年度）に市内中学校において、図書司書業務を委託している株式会社九州ビルサービスの従業員が、校内での認識の相違に起因したトラブルにより解雇されたことに伴い、株式会社九州ビルサービス及び福津市を被告とし、慰謝料等を請求する訴訟が提起された。

3、和解内容。（1）原告及び被告福津市は、これまで図書司書業務が適正に行われていたことを確認する。

（2）被告らは、学校における図書司書の役割の重要性を認識し、図書司書がその役割を果たせるよう、今後も務める。

（3）原告及び被告福津市は、当時の校長と原告間において、認識の相違に起因してトラブルが生じたことを遺憾と考える。

（4）原告は、被告らに対するその余の請求を放棄する。

（5）原告及び被告福津市は、原告と被告福津市の間には、本件に関し、本和解条項に定めるもののほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する。

（6）訴訟費用は各自の負担とする。

ここまでが別紙でございます。

内容についてもう少し詳細に説明をさせていただきます。まず訴訟が起きた理由でございますが、図書司書業務を九州ビルサービスに委託しておりますが、当時原告が図書司書業務を逸脱をした当事者ですね。原告が図書司書業務を逸脱したということで、校長と認識の相違が生じてトラブルが発生しています。そのトラブルに起因して、九州ビルサービスが原告の配置換えを行い、その異動命令に従わなかった原告が解雇をされたこと、それに起因して訴訟が提起されて、訴訟で原告が求めているものは、被告の九州ビルサービスが雇用契約上の権利があること、解雇が無効であることを確認すること、それから、被告九州ビルサービスに判決が出るまでの給料相当額を請求するもの。それから、3点目に、被告福津市と九州ビルサービスに慰

謝料として220万円を請求すると、その3点の訴訟が行われました。

それで先日、10月になりまして、原告と被告、私たち福津市と九州ビルサービスの間で和解が成立しましたので、今回報告をしているものでございます。

相手方についてでございますが、住所と氏名を(略)とさせていただいております。これについては、福津市情報公開条例第10条で、公開の請求に関わらず、個人に関する情報についてはこれを公開してはならないと規定されていますので、議案上公開をしていませんので、御了承ください。

説明は以上です。

大嶋教育長：それでは、本件に対する質疑を受けたいと思います。

ございませんでしょうか。

今村委員、お願いします。

今村委員：図書司書の方、業務を逸脱した行為ということですけど、逸脱した行為というのはどういう行為だったんでしょうか。

大嶋教育長：石津課長、お願いします。

石津課長：まず、福津市と九州ビルサービスの間で図書司書業務に従事していただくということで委託関係を結んでいて、九州ビルサービスが受託し、従業員を当該中学校に派遣をして、そこで従事させていたという経緯があります。

逸脱したという内容については、図書司書業務以外の生徒と関係するような業務を実施したというところが逸脱したと、図書司書業務以外をしてはいけない雇用契約なのに、図書司書業務以外の例えばですが、生徒からの相談を受けるとか、1つの事例ではないんですが、いろいろなことをして学校側と認識が相違してトラブルが生じたということですね。

今村委員：当然図書司書の方だから業務内容については認識されているはずですよ。してはいけないことと必ずやらなければいけないこととですね。契約でそのことについての確認というのはされているんですかね。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：当然に、図書館で図書の整理をするとか、貸出業務をするということが図書司書の委託業務の内容でございますので、それ以外のことについては業務外なので、してはいけないというのは当然当事者の方も原告の方も理解はされていたと思います。しかし、学校にいらっしゃるので、おそらくそれ以外のことも生じてはくるのだと思いますが、そのさばき方のところで学校と認識の相違が生じたのではないかと考えております。

今村委員：分かりました。

大嶋教育長：ほかございませんでしょうか。

青木委員、お願いします。

青木委員：その図書司書の方は、資格というのはもちろん持ってあるわけ

ですよね。

石津課長：図書司書の資格を持った方を九州ビルサービスさんが雇用して、学校に配置していただいているということになります。

青木委員：ほかの学校も、図書司書の先生というのは、その会社が派遣してきているんですかね。

石津課長：福津市では、全小中学校、現時点では、九州ビルサービスに委託をして、そこが雇用した職員の社員の方を派遣していただいています。

青木委員：分かりました。

大嶋教育長：ほかにございませんでしょうか。

ないようですので、質疑を終結します。

4 日程第4 報告第4号 福津市立学校通学区域審議会の答申について

大嶋教育長：それでは、日程の第4、報告第4号 福津市立学校通学区域審議会の答申について報告をいたします。

事務局より報告お願いいたします。

石津課長、お願いします。

石津課長：報告第4号 福津市立学校通学区域審議会の答申について、着座にて説明をさせていただきます。

報告第4号 福津市立学校通学区域審議会の答申について、福津市立学校通学区域審議会の答申を別添のとおり報告する。

令和3年10月27日。

福津市教育委員会教育長、大嶋正紹。

理由、令和3年7月26日に福津市立学校通学区域審議会に諮問した「福津市立学校の通学区域の運用について」について、令和3年10月20日に同審議会から答申を受けたので報告する。

本文以下を朗読して報告ということにさせていただきます。令和3年7月26日付3福教学第1154号で諮問のあった通学区域等の運用について、福津市立学校通学区域審議会規則第2条の規程により、慎重に審議を重ねてきました。その結果を下記のとおり答申いたします。

記、1。過大規模校対策としての学校選択制の導入、校区外通学制度の拡充、特別認可制度の拡充の可否。

福間小学校、福間南小学校、福間中学校に通学する児童・生徒について、保護者からの希望があれば、大規模校及び過大規模校ではない学校への校区外通学を可能とすること。ただし、勝浦小学校には、特別認可制度があるので、校区外通学の受入れ校にはしないこと。また、勝浦小学校以外には特別認可制度は拡充しないこと。

2. 福津市校区外通学等の運用に関する規程第2条第1項第

1号ウに規定する宮司2区、宮司3区及び宮司西区を特例地区とし、福間小学校または福間中学校への就学を認める運用の今後の在り方。

宮司2区、宮司3区及び宮司西区を特例地区とし、福間小学校または福間中学校への就学を認める運用は、福間小学校、福間中学校の過大規模校化の現状を鑑み、令和5年3月30日をもって廃止すること。

5ページです。

なお、審議の過程で以下の意見が出されたので、今後実施に当たってこれらの意見を十分考慮し各制度の運用をされるよう要望する。

1、大規模校及び過大規模校ではない学校への校区外通学に関して。

①通学区域の原則は、住んでいる地域の学校への通学であるため、福間小学校、福間南小学校、福間中学校の過大規模が解消された際には、校区外通学の適用は終了していただきたい。

②校区外通学の運用に際しては、受入れ側の学校の地域や保護者に対して説明していただきたい。

2、宮司2区、宮司3区及び宮司西区の通学特例地区を廃止することに関して。

①令和4年度入学予定者や市民全体に対して、過大規模校の現状について丁寧に説明していただきたい。

②校区外通学制度を利用し、福間小学校及び福間中学校に通学する児童・生徒は、希望すれば、中学校卒業まで福間小学校及び福間中学校に通学できるよう経過措置を設けていただきたい。

③福間小学校及び福間中学校への校区外通学を適用している手光湯ノ浦地区については、宮司地区と同様に、経過措置を設けた上で、令和5年3月31日をもって校区外通学の適用を廃止し、就学指定校である神興小学校、福間東中学校へ進学することが望ましい。

以上でございます。

大嶋教育長：それでは、本件に対する質疑を受けます。

ございませんでしょうか。

半澤委員、お願いします。

半澤委員：校区外通学を可能にするということですが、その特別認可制度というのは、勝浦小学校にもともとある制度と、今後適応しようとしている校区外通学というのと、規程の違いというところを説明していただきたいです。

石津係長：まず、校区外通学につきましては、校区外通学に関する規則の中で定められていますが、何らかの理由により自分の指定される学校ではない学校に就学許可をしてもらう制度です。

勝浦小学校の特別認可制度についても、見た目的には一緒に

すが、勝浦小学校につきましては、小規模の学校のよさを理解した上で就学をしていただくということが目的になるので、見た目は別の学校に行くということは一緒ですが、制度の運用が違ふということになるということになります。

農崎委員：難しいですね。

どちらにしても小規模校に行くことができるということが主なところですよ。

半澤委員：自分の範囲の決まった学校以外のところに行きたいという保護者なり本人の思いがあって、その学校にここに行きたいですということは変わらないわけですよ。それを特別に勝浦小学校だけ、特別認可制度があるので受入れ校にはしないという枠を設けるわけですよ。

ということは、何かこうその2つの違いといいますか、こちらはできるけど一方はできないみたいな、そういった違いがあるのかなという気がしますね。

石津係長：勝浦小学校につきましては、勝浦、奴山の当該校区の方が一学年7人程度の学校ということになります。そういう学校で、ただ単に校区外通学を認めていくと、地域のコミュニティー、地域の活動も滞って、地域との軋轢というんですか、そういうところの影響とかもあるんで、勝浦小学校はどういう教育を目指している、地域とどう関わっているというのを十分理解していただいた上で来ていただくということが前提となります。

ほかの学校については、ある程度の児童・生徒がいる中に、少数の校区外通学の利用する児童・生徒がいらっしやっても、学校全体に及ぼす影響というのは少ないと考えられるので、その割合が極端に変わってくるというところから、勝浦小学校には十分に勝浦小学校のよさを理解して来ていただく人に行ってほしいということから、この認可制度には入れないようにということで答申をいただいています。

大嶋教育長：半澤委員。

半澤委員：素朴な疑問ですけど、上西郷小学校も少し規模が小さい小学校と考えますが、ここは校区外通学の範囲内ということなんですか。

石津課長：そうですね。

半澤委員：同じような、一見そんな感じがするんですけども、勝浦小学校はそういう認識を持って入ることが前提で、上西郷小学校は、校区外通学を当てはめていきたいと思いますという方針なのでしょうか。

石津課長：そうですね。そちらについても審議会の中で議論があったんですが、まず、過去を振り返った、平成17年に勝浦小学校の特別認可制度を導入したときには、勝浦小学校は複式学級が進む、学校が存続の危機もあるという状況の中で、いかに学校を地域として存続させていくかということからスタートとして、特

別認可制度が考えられ始めた、そういう中で、当時合併前なので、津屋崎小学校の児童が幾らかでも勝浦に来てくれたら、地域のよさを理解して来てくれると、複式学級も解消されるし、学校の存在も継続できるということがあっての特別認可制度が始まったと、そういう状況も説明しながら、じゃあ上西郷小学校がどうなのかというところを検討いただきました。

上西郷小学校については、一学年約30人前後の児童・生徒がいますので、学校廃止の危機の状況にもないし、複式学級の危険も今のところはないという状況の中で、特別認可制度にする必要まではないんじゃないかと、受け入れに余裕があるところについては校区外通学で来ていただいたらよいんじゃないかという御意見をいただいて、この答申となっております。

以上です。

半澤委員：ありがとうございました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

今村委員。

今村委員：よろしいでしょうか。

2番のところですが、よく分からないので教えていただきたいんですけど、宮司2区、3区、それから、西区を現在特例地区としているわけですね。それで、福間小学校、福間中学校の就学を認めている、これを廃止するということですね、答申は。

石津課長：はい。

今村委員：なぜ令和5年3月31日としているかということが1つです。

福間小、福間中の過大規模校の現状を鑑み、つまり大規模校にもうなっているので、特例を廃止するということですね。

なぜ令和5年なのかを教えてください。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：現在、認めている特例をいつのタイミングで廃止するかということについても議論いただきました。一番直近ですと来年度、令和4年4月1日から認めないというのが一番早いタイミングになるんですが、答申いただいたのが10月20日で、10月の時点であと半年を切った段階の現時点では、当該地区の宮司地区の方は、福間小学校に行く、福間中学校に行くという気持ちがあるだろうと、そこを鑑みたときに、この段階でもう来年度の4月から津屋崎小学校、津屋崎中学校ですよというのは、あまりにも早急な対応になるのではないかという御意見から、1年間先送りとし、来年度ではなく、令和5年度からは津屋崎小学校、津屋崎中学校に行ってくださいという運用にすることが保護者のこと、児童・生徒のことを考えてもよいんじゃないかという御意見から、こういう答申としていただいています。

今村委員：分かりました。猶予期間ということですね。

石津課長：はい。

今村委員：少し期間を設けないといけないですし、当然説明もしなければいけないということですね。

石津課長：そうですね。

今村委員：それからもう1点ですが、湯ノ浦地区というのはどの辺りになるんですかね。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：手光の湯ノ浦地区というのは、思い浮かべていただくと、宮地嶽神社の第2駐車場から中央公民館に向かっていった、旧津屋崎町を通り越して、旧福間町に入ったすぐの辺に住宅地が約20軒程度あるところですよ。そこについても現在福間小学校、福間中学校に行くことを認めているんですが、それについても、そこについては運用上明確に規程がされていないんですが、教育委員会として判断をして許可をしていると、それについても、福間小学校、福間中学校が過大規模校になっているという状況を鑑みると、廃止することが適当だろうという御意見をいただいているところでございます。

今村委員：そうしたら、この地区は神興小学校区ですか。

石津課長：はい。

今村委員：神興小学校はかなり遠くなりますかね。神興小学校というと、中学校は福間東中学校ですね。小学校は津屋崎小学校じゃなくて、神興小学校になるんですよね。

石津課長：そうですね。旧福間町でございますので。

今村委員：距離的にはどうですかね、神興小学校と津屋崎小学校、どちらが近いでしょうか。

石津課長：若干ですが津屋崎小学校のほうが近いと思います。

今村委員：人数的には神興小学校のほうが数は少ないから増えたほうがよいのはよいんでしょうけど。少し遠くなるような気がしますね。

石津課長：湯ノ浦地区については、運用で決めて動くんですけども、現在行っている方については、許容していくことにしていますので、現在福間小学校に行っている方はそのままと、今その当該地区の中で神興小学校に行っている児童もいらっしゃると。

今村委員：実際に行かれています方がいるわけですね。

石津課長：そうですね。

今村委員：分かりました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

よろしいですか。

それでは、ないようですので質疑を終結します。

5 日程第5 議案第35号 福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正することについて

大嶋教育長：続きまして日程の第5、議案第35号 福津市校区外通学等の

運用に関する規程を改正することについてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

石津課長、お願いします。

石津課長：議案第35号 福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正することについて、着座にて説明をさせていただきます。

議案第35号 福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正することについて 福津市校区外通学等の運用に関する規程（平成17年福津市教育委員会訓令第5号）は、次の理由により改正する必要があるので、別案のとおり福津市校区外通学等の運用に関する規程の一部改正する規程を制定する。

令和3年10月27日。

福津市教育委員会教育長、大嶋正紹。

理由、令和3年7月26日に福津市立学校通学区域審議会に対し、福津市立学校の通学区域の運用について諮問を行い、令和3年10月20日に同審議会より答申を受けた。

この答申を踏まえ、福間小学校、福間南小学校、福間中学校に通学する児童・生徒について、保護者からの希望があれば、大規模校及び過大規模校ではない学校への校区外通学を可能とし、宮司特例地区に居住する児童及び生徒の福間小学校、福間中学校への校区外通学の許可について、特例を廃止する必要が生じ、条文を整備する必要が生じた。

これが、この議案を提出理由である。

詳細を説明いたします。先ほど報告いたしました報告第4号の福津市通学区域審議会の答申を受け、福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正するものでございます。

この改正訓令は2条で構成し、第1条では、先ほどの答申の1番、過大規模校対策としての学校選択制の導入、校区外通学制度の拡充、特別認可制度の拡充の可否を受けて改正するもの。

第2条は、答申の2番、宮司2区、3区及び宮司西区の福間小学校、福間中学校への就学を認める運用の在り方を受けての改正となります。

附則で規定いたしますとおり、前段第1条については、令和4年4月1日から、第2条については、令和5年4月1日から施行することとしています。

改正内容については、新旧対照表を用いて説明をさせていただきます。

まず、令和4年4月1日から施行する部分、第1条関連をお願いいたします。中段（2）規則第3条第3号の運用基準に大規模校の特例の規程を追加することとなります。福津市立学校の通学区域審議会に関する規則第3条第3号で、その他教育的配慮を要すると教育委員会が認めた場合ということの運用を定めたところとなります。ここにウとして「福間小学校、福間南

小学校及び福間中学校に通学する児童等が、神興小学校、上西郷小学校、神興東小学校及び福間東中学校への就学を希望する場合」を追加することとしております。

これまで、宮司地区の校区外通学については、（２）のすぐ上、ウのところを規程をしておりました。こちらについては、規則第３条第２号の運用ということで、特別の基準、特別の事情がある場合として運用していたんですが、今回は教育的配慮を要すると教育委員会が認めた校区外通学と整理をしています。これについては令和４年度から施行をする、来年度の校区外通学の申出から施行することといたしております。

次に第２条関連についてです。こちらは、宮司地区の特例を廃止するものとなります。先ほど説明しました右側の（２）のすぐ上、ウのところに、宮司地区の特例を定めておりますが、この条文を削除し、適応ができなくなるとします。これについては、令和５年度から施行するという整理をいたしております。これについては、通学区域審議会の答申を受けて１００％そのまま採用させていただいて訓令の改正に至っております。

説明は以上でございます。

大嶋教育長：それでは、本議案に対する質疑をお受けしたいと思っております。

ございませんでしょうか。

半澤委員、お願いします。

半澤委員：規則第３条２号の運用基準のアということで、教育環境が著しく阻害され、それが解消される見込みがなく、かつ、継続されるおそれがある場合に認めるということになってはいますが、これは過大規模を解消するとか、過大規模で弊害を感じている児童・生徒のために、新しく設けられるものですね。

例えば、部活動ですね。自分が入りたい部活動でもものすごく人数が多いから、もしかしたら活躍する場がないかもしれないということで人数の少ない中学校に行きたいと希望するとか、そういう具体例の場合は、これは認められるんですか。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：まず、過大規模校に現在就学していて、部活動とかその他いろいろ要件はあるんですが、そういうことで希望する場合は、福間小学校云々と書いてあるところですが、今後これを、希望すれば行けるように運用すると。それで、先ほど半澤委員がおっしゃった（１）のア、児童及び生徒の教育環境が著しく阻害され、それが解消される見込みがなく、かつ、継続するおそれがある場合というのは、現状で考えられているのは、いじめによって学校には登校できない、学校が変われば登校できるとか、そういうような状況のときが大きく該当するのかなと思っております。

半澤委員：なるほど。

部活動でとかそういう理由の場合は、(2)のウというこの規程によって認められるということですね。

石津課長：そうですね。

半澤委員：分かりました。

石津課長：部活動がない場合でいうと、過大規模校じゃなくても希望する部活動がないケースというのはあると思うんですね。それを無尽蔵に認めていくと、収拾がつかなくなるので、過大規模校の児童生徒が、過大規模校でない学校に行くことについては認めるという運用でいくということにしております。

半澤委員：分かりました。ありがとうございます。

大嶋教育長：基本的に校区外通学というのは、その際の保護者の方の何らかの理由によって校区外の学校に通学したいという希望を、理由をつけて教育委員会に申請されて、その理由が妥当であると教育委員会が認めたときに、例えばいじめなど、ほかの理由もありますよね、転居の場合などがありますけども、過大規模校の場合はそれとまた違って、特例的な意味があるんじゃないかと思えます。過大規模の学校に通ってある児童・生徒・保護者の方が希望されれば、認めることによって、その過大規模校の解消にするという意味がございまして、その点において少し種類が異なるとお考えいただいたらいいのかなと思えます。

半澤委員：分かりました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

農崎委員、お願いします。

農崎委員：質問ではないのですが、各家庭でいろんなお考えがあると思います。今すぐ説明するのは難しいかもしれませんが、できるだけ早めに告知をして、丁寧に説明をして、なるべく皆さんに御理解をいただいた上で運用できたらなと切に願います。

よろしくお願いします。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：本日議決をいただきましたら、運用の方針が定まりますので、それを受けまして周知していきたいと思えます。今後来年度の宮司地区に居住する方についてもまだ意向を確認していない状況でして、これをどうするかというのを保留していましたが、今後来年度新1年生になる方についても意向の調査を行いますので、そのときにお知らせすること、それから、市民全体、特に宮司地区の方ですが、この方々においても周知が必要だと考えておりますので、こちらも丁寧に対応していきたいと考えています。

農崎委員：よろしくお願いします。

以上です。

大嶋教育長：ほかございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、ないようですので、質疑を終結します。

これより議案第35号を採決します。

議案第35号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

ありがとうございます。全員賛成であります。したがって、日程の第5、議案第35号 福津市校区外通学等の運用に関する規程を改正することについては、原案のとおり承認されました。

6 日程第6 議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱について

大嶋教育長：続きまして日程第6、議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱についてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

石津課長、お願いします。

石津課長：議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱について、着座にて説明をさせていただきます。

議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱について、別紙の者を福津市教育支援委員会委員に委嘱する。

令和3年10月27日提出。

福津市教育委員会教育長、大嶋正紹。

理由、福津市教育支援委員会規則第3条の規程により14名の者を教育支援委員会委員に委嘱しているが、より慎重な審議を行うため、1名を追加する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

今回福津市教育支援委員会委員に学識経験者として、古賀特別支援学校主幹教諭の、大園賢二氏を追加して委嘱するものでございます。

追加する理由でございますが、就学の判定を行う児童・生徒数が増加していること、慎重な判断を要する児童・生徒が増えていることから、委員を新たに1名追加し、これまで以上に慎重な審議を行うために1名追加するものでございます。

参考までに、今現在委員に委嘱している方を14名載せております。

説明は以上です。

大嶋教育長：それでは、本案に対する質疑を受けます。

ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、質疑を終結します。

これより議案第36号を採決します。

議案第36号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

ありがとうございます。全員賛成であります。したがって

て、日程の第6、議案第36号 福津市教育支援委員会委員の委嘱については、原案のとおり承認されました。

7 日程第7 協議

大嶋教育長：続きます、日程第7の協議事項ですが、前回までと継続して新設校についてです。庁内での協議がまだ済んでいない内容になりますので、非公開とすることを発議いたします。

非公開とすることに賛成の委員は挙手願います。

(全員賛成)

全員賛成ですので、この案件については公開しないことに決定します。

日程第8、報告と、日程第9、その他についてを先に行い、その後日程第7の協議事項としたいと考えますが、そのことについて賛成の委員は挙手を願います。

(全員賛成)

ありがとうございます。全員賛成ですので、日程第7の前に日程第8と日程9を行うこととします。

8 日程第8 報告

大嶋教育長：それでは、日程第8、報告、教育長の動静報告をいたします。

別紙がございます。別紙を御覧ください。

同動静報告について何点か触れておきたいと思います。

2点あります。まず、10月13日水曜日、宗像地区教育事務連絡協議会というのが宗像市役所で行われております。これは主に、宗像市と福津市で連携協力して、学校教育をよりよくしていくということについての協議でございます。

1つ申し上げますと、教職員の人事異動について、宗像市と福津市で主に教職員、福津市で長く勤める、宗像市で長く勤めるというのがあるんですけども、基本的に同じ市に務めるのが長くないようにという、例えば福岡教育事務所管内でその幾つかの市がある場合は、例えば5つとか市があるところがあるんですけども、そういうところは、例えば、筑紫とか御存じかと思いますが、糟屋も7か8ぐらいあるんですけども、そういうところは1つの地区の12年以上は勤めないというような規程もあります。

ただ、宗像地区の場合は、もう2つしかありませんので、宗像市と福津市しかありませんので、同じ市だけにはならないようにということですね。人事異動を行っておりますので、もう宗像市に勤めてある教職員、福津市に勤めてある教職員で宗像地区の教育をこのようにやっているということで御理解いただければと思います。

それから、もう一つです。10月26日、昨日ですけれど

も、福岡教育事務所で、管内教育長会議が行われました。それで、その教育長会議の前に、市町村教育長と県教委幹部職員との意見交換会というのが行われました。福岡教育事務所管内の市町村の教育長が20名ぐらい集まって、それで、県教委から県の教育長と教育振興部長と義務教育課長等が来られての意見交換というのがありました。

議題は2つあったんですけど、1つは不登校対策についてというのが議題でございました。県教委がその不登校対策の全体像をグランドデザインというものをつくって、力を入れていこうという案の説明がありました。その中でと少し出てきましたのが、フリースクールに現在行かれている生徒さん等もいらっしゃいます。福津市以外でもいらっしゃるようなんですが、その出席の扱いをどうするかというところがなかなか難しくなっております、県教委でそれについての基準を定めてほしいという話も出ておりました。

それから、もう1つは、特別支援教育についての話だったんですが、どの市町も特別支援学級の増加に伴う対応に苦慮されているということで、なかなかその障がいがある子供さんの通常学級とするのか、通級とするのか、特別支援学級とするのか、特別支援学校とするのかというあたりの、その基準の定め方が非常に難しくなっております、その辺についてのお願いが幾つかの市からありましたが、なかなかそれは県としても難しいようで、福津市もかなり増加しておりますので、今後対応が求められるのではないかなと思っております。

以上が報告でございます。

何かこの動静についてご質問等ありましたらお願いいたします。

どうぞ、今村委員。

今村委員：13日の学校教育の連携について、福津市と宗像市の、人事異動は両方の市で行うということは分かるんですけど、1つの学校に6年という基準があったと思うんですけど、それはどうなっているんでしょうか、現在も勤務年数の基準としてはだいたい6年ですかね。

大嶋教育長：それはもう変わりません。1つの学校に6年は変わりません。

今村委員：それはあくまで基準ですよ。

大嶋教育長：はい。

今村委員：それと、他市との交流はどのようになっているんですかね。古賀とか新宮とか筑紫との人事の交流ですね。

大嶋教育長：そうですね。

今村委員：それはどういう、積極的に受け入れるのか、それとも本人の希望ももちろんあるでしょうけど。

大嶋教育長：現在はもう積極的に交流していこうということが基本にあるぐらいですね。

やはり基本的な規程としては、教育事務所管内人事というのが大筋なんですよ。基本なんですけど、やはり自分の住んであるところに勤めたいという希望が多いですので、希望を尊重してということで、それぞれの地区内で勤めてある方のほうが多いということですね。

今村委員：分かりました。ありがとうございました。

大嶋教育長：青木委員。

青木委員：13日の件ですけど、人事のことだけについての会ですか。

大嶋教育長：いえいえ、この会の内容は詳しくは説明しなかったんですけど、人事はまた別の話で、先程は宗像市と福津市の関係を言いたいために人事のお話をしたんですけど、この会議の中心は、先生方の資質能力をどう高めていくかとか、それぞれの市で行っている授業をお互いに連携して、例えばICTであるとかを高めていくかということ等についての協議でございます。

青木委員：メンバーはどういう方々ですか。

大嶋教育長：メンバーは、それぞれ両市の教育委員会の事務局になります。この教育事務連絡協議会としているのは、その教育専門と言いますか、指導主事だけではなくて、課長とか部長も入っております教育内容だけではなくて、教育行政面からも振興を考えていく会議でございます。

青木委員：分かりました。

コロナで私たちの研修というのも全部行うことができていないので、宗像市の教育委員の方と福津市の教育委員の交流が結局一度も実現していないんですよ。

教育委員会同士の交流があるんだったら、教育委員の交流というのも何かできないかということをおもったので、それが1つです。

大嶋教育長：そうですね。

青木委員：もう一つは、26日の件ですけど、フリースクールの出席扱いというのが、現在校長先生の判断で出席にするかしないかというのが決まっているということで、いろいろフリースクールもあると思うんですね。それをその各学校の校長先生の判断というのは、責任もあるだろうということで多分そういう話になっただろうと思いますけど、教育委員会でその判断できるようになるとか、そういう話合いがあったんですか。

大嶋教育長：そうですね、その難しさの1つの例を挙げますと、やはりその出席を認めるということは、教室で学習しているのに準ずるようなちゃんとした教育課程に基づいて指導が行えているかどうかということが判断の基準になってくるわけですが、それがなかなかフリースクールは多様で、それぞれ違ってきますので、そこの認め方は非常に難しいというところがございます。

ですので、そこの基準をしっかりと、例えば県教委が示してもらおうと助かりますという話でございました。

青木委員：分かりました。

大嶋教育長：それでは、次に進ませていただきます。

諸報告ですね、学校運営協議会委員の変更について、石津課長、お願いします。

石津課長：お手元の資料に、令和3年度学校運営協議会委員名簿、神興小学校の分をつけさせていただいています。教育委員会事務局の職員が人事異動によって代わりました、これまで教育総務課長の宮原栄介が務めていただいていた神興小学校の学校運営協議会委員を今回、城野教育総務課参事に変更することといたしておりますので御報告をいたします。

以上でございます。

大嶋教育長：それでは、今の点はよろしいでしょうか。

9 日程第9 その他

大嶋教育長：では、日程第9、その他の事項についてお願いいたします。

笹田係長：失礼します。

今後のスケジュールにつきまして、15ページに今日から11月末までのものを載せております。

教育委員の皆様に関わる部分を御案内いたします。

明日、10月28日木曜日に、神興小学校で県の重点課題（食育）の発表会が午後予定しております。

11月2日火曜日に、津屋崎中学校区で福津市コミュニティ・スクール実践交流会を午後に予定しております。

11月5日金曜日の午前中、上西郷小学校で定期学校訪問です。

そして、次回の教育委員会定例会ですけれども、議会との関係でいつもよりも十日ぐらい早くなっておりまして、11月17日を予定しております。会場は今のところ庁議室と書いているんですけれども、また大会議室や大ホールなどに変更できるようでしたらまた御案内いたします。

以上です。

大嶋教育長：その他の事項についてよろしいでしょうか。

10 日程第7 協議

大嶋教育長：それでは、これより日程第7に入りたいと思います。

誠に恐れ入りますが、傍聴の方は退室をお願いいたします。

(非公開部分)